

「教員になる」という想いを全力で支援します



未来への挑戦

令和2年度 第1号

宮崎国際大学 学生教職支援センター通信 2020年7月3日発行

今号の特集記事 / 教員採用試験に向けて



熱心に受講する4年生



熱のこもった講義



過去問に熱心に取り組む3年生

令和2年度実施教員採用選考一次試験、7月11日・12日に実施！

宮崎県をはじめ九州・沖縄地域で、令和2年度実施教員採用選考試験が7月11日又は12日に一斉に実施されます。宮崎県の小学校は、7月11日（土）に宮崎県立宮崎大宮高等学校で実施され、本学からは教育学部の4年生17名が受験します。宮崎県の中学校英語は、7月12日（日）に県教育研修センターで実施され、国際教養学部4年生3名が受験します。熊本県や長崎県、福岡市を受験する他の4年生3名も、この二日間のどちらかで実施される予定ですが、受験票がまだ届いていない自治体もあり、6月末には分かります。

そのほか、九州各県の小学校や中学校・高等学校で臨時的任用講師をしながら寸暇を惜しんで勉強し、合格を目指して受験をする卒業生もいます。

一次試験の結果は、8月上旬に発表される予定です。

教員採用選考試験「特別対策講座」に2年～4年生が全力で受講！

(1) 4年生対象 特別対策講座「応用2」

4年生は、新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期して、学外講師による対策講座を受講したり、受験願書の自己申告書の書き方について指導を受けたり、全国模擬試験を受験したりしてきました。現在も毎週3回、受験対策講座や模擬授業の指導を受けて、教員としての実力や資質の向上を目指して懸命に頑張っています。受講している4年生の感想を紹介します。

学生A（教育学部4年）

私は、これまで教員採用試験対策講座を受講した中で全教科や教職教養についての知識はもちろんのこと、小学校教員になるための姿勢も学ぶことができました。

講義では、これまで大学の授業で学んだ内容を復習しながらより深く理解することができました。また、宮崎県の教育振興基本計画の内容など、現在の宮崎県の取り組みを知ることができました。

模擬授業では、教育実習で得たことを踏まえながら行いましたが、模擬授業に対する姿勢や、子どもの目線にたつことの難しさを感じました。しかし友達の模擬授業をみて、良いところや、自分に足りない部分に気付くことができ、授業をする時のパートリーが増えたので良かったです。

毎時間、先生方が熱心に教えてくださったり、苦手な内容はすぐ先生に聞けたりと、素晴らしい環境の下で勉強ができていることに感謝し、今後も教員採用試験まで必死に頑張ります。

学生B（国際教養学部4年）

外部の先生方の講義には、就職活動で出席することができなかった時もありましたが、宮崎県の問題の傾向を調べてくださり、その対策問題を作ってくださいましたことなど、いろいろと工夫していただき、とてもためになりました。しかし、授業と講義が重なってしまうこともあったので混乱した部分があったように感じます。

また、全国統一模試は、数回行われましたが、第3回はコロナウイルスの影響で個別受験となり、緊張感のある状態で受けることができず残念でした。しかし、自分としては難しく感じたので、勉強不足を実感できて、良い刺激になったと思います。

今回、コロナウイルスで対策講座がなくなると思っていたのですが、予定どおり行ってくださり、外部の先生方も感染の恐れがあるにもかかわらず足を運んでくださいました。いよいよ教員採用試験も近づいてきたので、今まで習ったことを生かして、ラストパート頑張りたいと思います。



時間一杯まで講義



緊張する模擬授業

学生C（教育学部4年）

私は、今回の対策講座を受講して大変良かったと思いました。外部の先生方も私たちのために多くの資料を準備してくださいさたり、相談にも乗ってくださいさたりと教員採用試験に向けて頑張ることができました。毎回の対策講座を通して、最初のころに比べると問題等も正解率が上がり、内容が分からないところも講座を通して理解することができました。また、先生方がとてもやさしく、私たちの理解が乏しいところは重点的に取り上げてくださり感謝しかありません。また、勉強以外にも私たちに自信を持たせるような声掛けや励ましの言葉をいただき、私自身の意欲の向上にもつながりました。

これから、試験まであと少ししかありませんが、対策講座や自分の勉強を通して悔いのないように頑張りたいと思います。



積極的に参加する学生

（2）3年対象 特別対策講座「応用1」も全員意欲的に受講



4年生の姿をいつも見ている3年生も、特別対策講座「応用1」にほとんど欠席することなく、熱心に過去問等に取り組んでいます。長期休暇を除いて、年間24回以上の講座を開設していますが、教職教養や全科目の問題を毎週のように解きながら、出題傾向がどのようになっているのかを自分で実感できるようになっています。3年生は4年生に比べて宮崎県の教師を希望する学生の割合が高いのですが、昨年同様、熊本県や大分県など各県に応じた対策を今年度も講じていきます。

(3) 2年生対象 特別対策講座「基礎2」も全員意欲的に受講

2年生は、各教科の過去問と学習指導要領との関連を専門教員から詳しく学び、講義を通して教員採用試験対策の必要性を改めてかみしめています。次に、受講の感想を紹介します。

学生A（教育学部2年）

今回の対策講座を通して、まず宮崎県が求める教員像について改めて理解しました。それに近づくために、今の自分がやらなければならないことについて再確認することができました。また、算数科の教育の目標は教員がどれだけ数学に向き合ってきたのかで達成の度合いが異なるということを理解しました。それぞれの教科の勉強に取り組む時間は今しかないので、計画的に継続的に取り組んでいきたいと思っています。最後に演習問題を行いました。理論的な問題だったためとても難しかったです。理数ゼミや家庭学習で算数の演習を行う際は、ただ答えを出すだけでなく、理論的に考えて解くようにしていきたいと思いました。そして、今後の対策講座では3年生の対策講座（応用）につなげられるように、専門教科の学びを深めていきたいです。また、面接や小論文指導、模擬授業には積極的に取り組んでいきたいと思っています。

学生B（教育学部2年）

今回、初めてオンラインでの対策講座を受講し、私は普段よりも集中して取り組めたように感じた。他の講義にも当てはまるが、オンラインの授業では周りに頼ることができないため、先生の話聞く意識が高まる。しかし、質問があっても聞きにくいということは問題点の一つであると思った。メリット・デメリットはあるが、自分の目標を達成するために自分自身の力で努力していきたいと感ずることができる良い機会であった。

対策講座を受講すると自分の苦手な箇所気付、自分を見つめなおすよい機会になると思った。今後、各教科の講座を受講するにあたり、自分に何が足りないのか、どこを重点的に学習していったらよいかなど、より多くのことに気づき、そしてそれをもとに、自己実現に向けての努力を重ねていきたい。

学生C（教育学部2年）

第1回目の教員採用試験対策講座は算数の内容を行った。前半では教師像や授業の構成の仕方、後半では実際に算数の問題を解いた。講座の内容は算数だけに限らず、すべての教科に当てはまる内容であった。初めてオンラインで対策講座を受けたが、パワーポイントを活用していたので、しっかりと内容を理解することができた。これからの対策講座も気持ちを引き締め受講していきたい。

「保育者養成実践講座」も順調に開催！

教育学部幼保コース全員を対象（1年生は後期より）に、保育現場に生かせる模擬保育など保育の実践的な内容について体験を通して先輩と後輩が共に学び合ったり、公務員試験や保育教諭等登録試験にむけた基礎力の向上のための模擬試験等を今年度より実施しています。全員の学生は、造形、音楽、身体、言葉などの表現活動など保育の5領域を考えた模擬保育活動や手遊びなどの部分模擬活動に取り組みます。担当教員からの指導を受けながら保育指導案を作成し、事前研究や事後研究も含め実践的な内容で全員が積極的に取り組んでいます。先輩のアイデア溢れる模擬保育は具体的な保育内容となっており、学生からは「とても参考になった。」「後輩に見てもらうことで自分の課題を見つけることができました。」などの意欲的な感想が聞かれています。

恒例の二泊三日の特別対策合宿ABを9月17日限りの夏季特別研修に変更

今年度の9月下旬に予定していましたが「教員採用試験合格ための特別対策合宿」は、新型コロナウイルス感染拡大のために中止することになりました。その代替措置として、9月17日（木）に1日限りの夏季特別研修を行うことにします。

対象者は、教育学部2年生・3年生全員及び国際教養学部3年生の教職課程履修学生、合計111人です。午前9時から、18時45分まで終日、宮崎学園短期大学新館で実施します。プログラムは、過去に教員採用試験に携わったり、試験問題作成にかかわったりされた学外講師の方々による講義や面接の指導のほか、本学卒業生による教員採用試験の体験談や教育現場の状況に関する講話等を計画しています。本来なら二泊三日で行う内容を1日に凝縮して行う機会であり、学生たちにとって将来の目標に影響する貴重な1日になると思います。

【ひなた教師塾】に参加して、教師の資質・能力の向上を図る

宮崎県教育委員会が主催する「ひなた教師塾」が、8月8日から午前中を中心に宮崎県教育研修センターで年間8回にわたって開催されます。教師を目指す講師や大学生（3年、4年）、短期大学生等を対象に、教員としての基本姿勢や授業づくり、教育に関する知見を学ぶことを目的に行われる研修会です。本学教育学部は、3年生の小幼コース全員が第1回及び第2回講座にエントリーする予定です。そして、午後は11月から行われる教育実習の事前指導を、教育研修センターの指導主事の方々により、2回にわたってご指導いただくことになっています。

教員採用選考試験〈宮崎県の競争倍率の推移〉

宮崎県の最近の教員採用選考試験倍率は、以下のとおりです。小学校教諭等のここ3年の倍率は、2倍を切る状況が続いています。しかし、採用試験対策で力をつけていなければ、一次試験の合格は大変厳しい状況にあります。

表 宮崎県における教員採用試験倍率

採用年度	小学校教諭等	中学校教諭等	高等学校教諭等
平成25年度	11.4	15.6	11.6
平成26年度	10.9	12.4	9.9
平成27年度	10.0	12.5	12.6
平成28年度	5.7	9.4	10.1
平成29年度	3.9	8.0	10.5
平成30年度	2.8	6.3	8.2
令和元年度	1.8	5.3	11.3
令和2年度	1.7	5.1	8.3
令和3年度	1.8	5.3	11.5



（令和3年度採用宮崎県公立学校教員募集案内等より抜粋）